

LEFT



APRIL2013



(111)

3241-2

Hoernle, Edwin

函

安郵

號

188

永久保存

エドウィン・ヘ

プロレタリア階級とその児童

内務省

5.4.18

第538号

東京

禁止印刷

PIP

パンフレット

NO. 1

プロレタリア教育學研究所

見送られた児童の生活と教育

東京市立第一小学校

林

お返しは不要

HD 4854

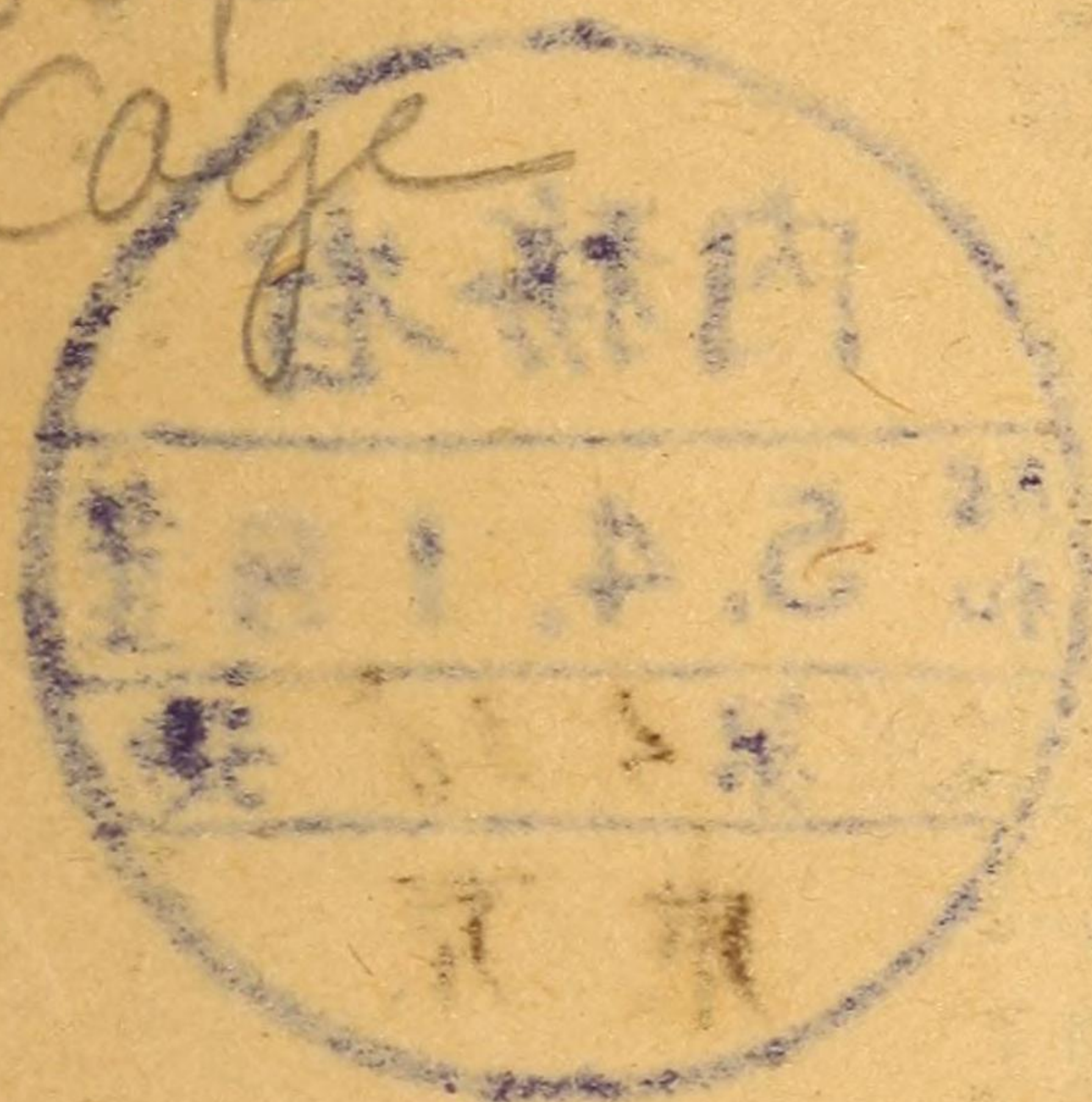
H64

1930

Copy 1

Asian
Japan

Case



ㄟ

ㄟ

99-429869

プロレタリア階級とその児童

プロレタリア両親に訴ふ

一、資本主義の児童虐殺

巨大なプロレタリア児童群を飢餓から救済すると云ふ目的をもつて、獨逸のブルジョアジューは、クリスマスの前の週間に『児童救済運動』を起した。一人の無産母親が、自分の跛足で、骸骨の様な子供を通行人に哀願する様に示してゐる所の悲惨な現實を描いたポスターが、どの街角の壁にも、亦飾窓にも掲げられた。かくて、ブルジョアジューは一方に於いて、『貧しく飢えたる児童』を援助したるにも拘らず、他方に於いてはその同じ貧しき児童たちの父母を、無慘にも街頭に投げ出したのである。又親方は賃銀を低下し初めると同時に『自由交換』（即ち無制限の利用）が殆んど全ての農産物に對して再び制定された。社會が同情的な言葉や、慈善をなしてゐる間に、文筆家が貧民窟の如實な叙述に苦心して

るる間にそして統計上の數字が國內に蔓延せる悲惨を説明しつつある間に、獨逸國內に於けるプロレタリアの兒童とその母親の幸福の爲の施設は、慈善的ブルジョアジーや政府の經濟的援助の缺乏から、漸次に閉止されるに至つた。かくして兒童や母親は飢餓に瀕し、悲惨と破滅とへ導かれた。

その後、その問題に就いては何の消息も聞かぬが、それは一つの良い影響を與へた様である。數千のプロレタリアの父や母は、ブルジョアジートの偽善に對して、また若きプロレタリアの不幸に對して、目を開いたのである。運動に先じて、彼等は、自分等の子供、友人及近隣の兒童等を見た。彼等は是等の兒童が甚だ、酷い生活をしてゐる事を知り、他の者も亦苦しんでゐるのを疑ひさへもしたが、悲惨の恐ろしい範圍に就いては知らなかつたし、又その一般的性質をも知らなかつた。兒童の道德性に關する統計や肺患兒童に就いての學校醫の報告に依れば、悲惨が單に一時的性質のものではなく、徐々に崩壊しつつある資本主義の結果であり、全無産階級の將來を脅かすものであることは明かだ。

ブルジョアの『救濟運動』は、現状を變化せしめ得もしなければ、又しようともしない所の支配階級の絶對的無力を證明するものだ。プロレタリアートは資本主義と兒童の不幸

との關係、資本主義制度の崩壊とプロレタリアの全體的な死滅との關係を明かに認識せねばならぬ。

従つてプロレタリア兒童に對する救済問題は、社會の現存の制度の下にあるブルジョアジイの改革や慈善としての問題では無く、此の不秩序を一掃する所のプロレタリア的階級闘争の任務であらねばならぬ。プロレタリアートはプロレタリア××のみが、彼等の兒童を救済し得ものであることを認識せねばならぬ。

次の數字は、よし完全には證明し得ぬとしても、今日の資本主義社會に於て苦しみつゝある悲惨なプロレタリアの兒童の恐るべき程度の公平なる報告を與へるであらう。即ちプロシヤに於いては、一九一四年から一八年に至る期間に於ける五歳より十五歳迄の兒童の死亡數は二萬五千七百二十人から五萬三百九十一人に昇つてゐる。ドイツ赤十字社、母子相談部の中央委員會の報告によれば、ベルリンに於ける全人口三百五十萬の中、四十八萬人の兒童に就いて調べた結果は、

二九、〇〇〇人は 結核病であり、

七七、〇〇〇人は 病的營養不良であり、

一二〇、〇〇〇人は 營養不良である。

正確な報告に依れば、ドイツには四十三の大都市があるが、その都市の人口中、

二〇〇、六三三人の兒童は 結核病であり、

八三五、九七三人は 極度の營養不良で、尙ほ

一、〇三六、六〇六人は 要救助者である。

又、丁度罹災者の如くに、我がドイツの兒童は衣服や靴を持つてゐない。例へばグラッツ市に於いて、千八百四十二人の學校兒童の内、百二十一人は常にシャツを持つてゐないし、四百四十六人はたゞ一枚きりであつた。七百三人は一足だけ靴下を持つてゐるが、二百九十七人は一つも持つてゐなかつた。木靴、或は布と木の底でできた靴を持つてゐるものが百七十一人、足を覆ふものを全然持たないものが二十一人あつた。

カイゼルスラウテルン市に於いては、八千七百十四人の兒童の内、二千七百八十四人のみが調つた服装をし、襪褌の着物を着たものが九百十七人、八人はシャツを持たず、二百二十人は只一枚、三百四十五人は下着を持たず、四百三十八人は靴を持たなかつた。

フランスの統計局では、他のヨーロッパ諸國と同じく兒童の恐るべき死亡數を報じてゐ

る。此の數字によれば一萬人の兒童の内、次の數の如く死んでゐる。即ちルーアンでは二九四人、リールでは三四二人、ダンキルシュでは五〇七人、アルユアンでは五〇九人、が死んでゐる。巴里に於いては、全兒童の半數は離乳前に死んでゐる。此の恐ろしい死亡率の原因は、營養不良と兒童の爲めの施設の缺陷に依るものだ。

ブタベストに於けるアメリカ赤十字團は、該市の兒童に對して蔓延しつゝある不幸に就いて、次の數字を公表してゐる。即ち或る學校の五百四十人の兒童は、一日の中に何を食べるかの質問に答へて、十人は只一度きり食べ、二百人は二度その食物は一片のパンとキクジサのソツプとだけであると。五百四十人の内、僅か十八人が肉を食べ、四十一人がコーヒーに少量のミルクを取ると云ふ始末である。

これに附け加へて、赤十字團では、實際は彼等の營養はもつと悪く、多くの兒童は何も食べぬ事を告白するのを恥ぢてゐる程であると云つてゐる。

ブルツセルの新聞『ル・プープル』(Le Peuple)は、ドイツに於ては、百萬人の病的兒童が居り、オーストリアにては七十萬の兒童が飢餓のために死に、ポーランドにては百萬の兒童が文字通り飢餓に苦しんでゐることを報じてゐる。

ヨーロッパ大陸に就て眞實である事は、同様に他の『文明』國に取つても眞實である。

此の恐るべき慘狀に直面して、プロレタリアは拱手傍觀してゐるべきではなく、また兒童に對してブルジョアジ―によつて爲された所の費消されたる財源を回復しやうとする事ではない。全て、かゝる企はバケツに一滴の水を注ぐ様なものだ。全く之と反對だ！ 兒童に對するプロレタリア的救濟運動の最初の仕事は、かうだ。現在の資本主義制度を全ての惡の起源として認識する事であり、此の制度に對して戰闘を開始することである。

此れは、我々日常の仕事に關し一定の目的の爲めに倦まざる争闘をなすことに依つて、最も良く、最も成功的に、爲され得るのである。それ故にプロレタリア兒童の救濟運動は我々の兒童が必要とするあらゆるものを、ブルジョア政府及びブルジョア的地方自治體に要求する事である。かうした要求は、支配階級に依つて『正當』と考へられる所のものでなく、我々が必要と考へる所のものである。

例へば次の如き要求をすることも出来る。即ち政府はプロレタリアの全兒童に食物と衣服を供し、また日光の家や、休日遊園や、幼稚園、等々を建設せよと。且つ全て此等の制度は、プロレタリア父兄會や労働者組合の機關によつて統制さるべきである。

勿論、結局ブルジョアジーは、之等の要求に心好くは應じないが、かゝる豫感是我々をして事を後退せしめる要はない。若しも資本主義制度が我々の要求と相容れないものならば、誤れるのは我等にあらずして資本主義制度そのものゝ中にある。プロレタリアートから生活を保證すべき財貨を奪ふ所の權力をば、彼等から取り去らねばならないのだ。

プロレタリアの両親よ！ 諸君の兒童は危険に瀕しつゝある！ 政府や國家が諸君に與へた約束には最早や満足すべきではない！ 彼等が金錢を持たないと云ふ聲明には最早や満足すべきではない！ 資本家は金錢を持つてゐるのだ！ 彼等はプロレタリア兒童を入れるべく、充分な家と庭園とを有してゐる。我々の兒童をして飢餓と不幸とから保護されるに充分な物を持ち、丸々と肥えてゐる金持のクラブや邸宅の中には、多量の食料が保有されてゐるのだ。支配階級の邸宅、銀行の金庫の中には金屬や貴重品が多數ある。我々の兒童に着物と保温を與へるに充分なリンネルや綿や毛布をば、彼等の倉庫の中には多分に有してゐる。要するに、之等の品物を、プロレタリアが利用しさえすれば良いのだ。

全てのかうした富、及び經濟的生活の手段、及び政治の統制をばプロレタリアートが確保すれば夫で良いのだ。最早やブルジョアジーの泣聲や反抗の怒號に恐れてはいけない。

彼等は自己の安定で平和な生活を棄てるよりは、寧ろ我々の數多の兒童を絶えざる死に導くことを欲してゐるものだ。

二、我々の兒童を毒するブルジョア階級

支配階級は我々の兒童を肉體的に殺すのみならず、亦精神的にも毒する。特に革命時に於いてはブルジョアはプロレタリア兒童をその階級から遠ざけ、争闘しつゝある両親や兄弟姉妹と反對の位置に立たしめるために勢力を倍加する。かゝる時期には、全ての學校、全ての私立及公立の學校は、反革命的プロバガンダ及訓練の要塞となり、支配階級が若き清新な精神に、國家主義や君主主義の、またブルジョア道德や感情の萌芽を、如何に注入するかを良く呑み込んでゐる事は明かな事實だ。此を明瞭ならしむる爲に、我が公立小學校に使用された讀本の内容を調べて見やう。それは、宗教的物語に満たされて居り偽りのプチブルジョアの道德に充されてゐる。ベルリン地方の小學校で使用されつゝある讀本の題目を例に取るならば、神は普く治しめず、神は全てのものを知つてゐる、神は全てのものを考へる、あらゆる場所に於いて神を賞讃する。神とその天使とは諸君を護ると、かうだ。

かゝる題材は、全てのプロレタリアートに取つて嘔吐を催さないであらうか、實際、神は全ての事を考へてゐるのだ。別けても失業せるプロレタリアートや、飢えたる肺病兒童のことを！

プロレタリアの両親よ！ 諸君は、諸君の兒童に對するかゝる偽りを何時まで許して置く積りであるか？ 諸君は拱手して諸君の頼りなき兒童に、沈滞された宗教的精神を以て甘く覆はれた奴隷道德が仕込まれるのを傍觀する氣なのであるか？ 上に記した讀本からいきなり取り出した次の物語に例を取つて見よう。即ち『村の市』。

——或る金持の婦人が多くの小女に何でも好きなものを買ひなさいと云つてお金をやつた。子供等が歸つて來た時、その買物の結果を深切な婦人に見せた所が、たゞ一人の女兒のみが有用な買物をした。即ち祈禱の本と、繰糸棒とであつた。そして此婦人は甚だ満足した。その少女の手を取つて、次の如く言つた。あなたの様な年頃で仕事とお祈りの事を考へるなんて、私は非常に嬉しいのです、他の子供等は、つまらないものを買つて綺麗な着物とか、虚榮になるものゝ外は少しも考へない。敬虔とか勤勉とか云ふ氣持を少しも持たないのです。云々

これに對して、我々は批評の言葉を付け加へる必要があらうか？ 典型的な小ブルジョア精神、慈善家としての金持の婦人、勤儉の賞讃、保護された貧しき少女、つまり要點は仕事と祈禱、枯草を食べよ！ さうすれば間もなく、汝は昇天するであらう、と云ふのだ。こゝに對立された貧民と金持との明かな事實、即ち擁護者として信任されつゝある金持に注意せよ！ かゝる叙述は何の讀本にも數多くの例證を見るであらう。

それが我が小學校を支配してゐる精神である。それに對して國家主義や君主主義も附加されねばならぬ。これは、共和的とか、社會主義的とか言はれる政府にあつてさへ同じ様である。歴史の講義の大部分は尙、王朝の尊敬に捧げられ、××や王宮の逃亡者の讚美に終止してゐる。英雄的なカイゼル！ 慈悲深き國の父よ、全世界は靈感を受けたる皇子、政治家、大將等の勞作として表はれてゐる。人類の發展の歴史は、戦争と賢明な法律的手段と、柔順や忠義の必要のために加へられた壓力、加ふるに盲目的愛國心との連鎖に過ぎない。

唱歌の教科にあつても亦、宗教と愛國心の外に出でない。あらゆる箇所にカイゼルや其他の王を、空の彼方の光榮ある土地の父として、地球の代理者と考へる思想で絶対に満た

されてゐる。作文の教科に於いても亦さうだ。また、教師等も亦男教師たると女教師たるとを問はず革命に反対し、共産主義者に反対し、労働者のストライキに反対し、ソヴェエツト・ロシヤに反対して、誹謗してゐる。仕事にありつけぬ人々は、仕事に怠慢であると考へられ、良い境遇にある子供や、反動者は歓迎され、勤勉や慎み深い事が、今日も尙ほ風上に置かれてゐる。

プロレタリアの両親よ！ 凡て此等の忠告が、實行されることは何を意味するのか嘗つて考へて見た事があるのか？ 今後とも諸君の児童を親方のお氣に入りを得さしめる様、願ふ積りであるか。彼等はプロレタリア児童をして、罷業破り、博徒、追従者、囚、白衛軍等の卑劣な群れに行かしめられんとしてゐる。全學校組織は、ブルジョアの利己心をもつて満たされてゐる。資本主義制度に對して道德的基礎を造る所の、憎むべき貧慾根性、即ちブルジョアの所謂『自由競争制度』から成つてゐる諸君の子供等の算術書を一瞥して御覽。そこには、資本家的觀念が、その線にも、また數にも隠されて居る。即ち如何に買ひ如何に賣るか、そして必要に應じて歩合を如何に算出するか等の外は、何物をも記されてゐないことを發見するであらう。

學校は兒童に、現時の社會に關する眞實なる狀勢に就いては、何等教へてゐない。即ち資本主義とプロレタリアートとの間の利害の鬭争、あらゆる戦争や革命の經濟的、社會的洞察に就いては、何等教ふる所がない。社會的騷擾の結果を意識的に見逃して、學校は教會や國家主義の時代の古びたお伽話を教へ、危険な幻想を、何事も疑はぬ若人の心に徐々に注ぎ込ませて行くのである。

生活の準備であるべき學校は、若きプロレタリアートをして彼の正しき生活の準備をさせずに、彼の搾取者の奴僕としての準備をさしてゐる。

然し乍ら、學校は兒童が育つべき雰圍氣の一部に過ぎない。プロレタリア兒童は、彼等の生活の大部分を、廣場や街路に送つてゐる。資本主義的都市の街路は、兒童の前に絶え間なく過ぎる所の人生の大パノラマであるのみならず、同時にプロレタリア街に於いても同じ光景を呈するのである。資本主義的社會の全ての浮渣が惡臭を發して溝渠の中を過ぎるのである。こゝに於いては、兒童がプロレタリア的共同、プロレタリア的争鬭を知る事は殆ど稀なのである。大部分の者は、資本主義の犠牲、即ち高利貸、相場師、贅澤者及びその他の犯罪人などによつて行はれる赤裸々の惡行を熟知する様になるのである。我等の

大都市の街路に於いて、プロレタリア兒童は不當利益を貪りつゝあるブルジョア階級の底抜け騒ぎを見せつけられるのだ。

悪戯なる仲間、友人、隣人の中に交つて、又は公立の住宅或は女郎屋の近邊に於て、兒童はあらゆる形式と様式に於ける惡徳に接するのである。兒童に依つて亂暴に畫かれた繪は、兒童等が低級な全てのものに共鳴し、悪い本能を惹き起すことを示してゐる。また兒童は貧困と富裕、飢餓と満腹、奴隸と主人、と云ふ様な對比を全ての場所に發見するものであるが、是等の問題を解決して呉れる人は誰れもない。その結果は、兒童にとつて、全く自然的要求なのである。——おう、若し私が充分に食べられて、暖い着物を着られたならば、若し私も同じ様に自動車に乗れて、他の人々を眺める事が出来たなら。かくて街路はプロレタリア兒童に階級的意識を教へて呉れないで、知らぬ間にブルジョア的生活原理を受け入れさしてしまふのである。

プロレタリアの家庭は、兒童の要求する全てのものを兒童に與へる事が出来ない。資本主義はプロレタリアの家庭を分解し、引き離して、彼等をして多くの點に於て兒童を方法的に教育する事を不可能ならしめてゐる。大概の家庭は、父が働くのみならず、母も亦働

くのである。誰が兒童を世話するのであるか！ 誰が彼等に規律正しく、常に清潔である様に教ふるのであるか？ 誰が色々の知識を傳へるのであるか？ 誰が誤りを正し、お互に助け合ふことを教ふるのであるか？ 自己を支配し得るやうに訓練し、また忍耐を指導するのは誰であるか？

若き魂に階級意識の萌芽を植えつけるのは誰であるか？ 社會主義の理想、プロレタリアの自由獲得のための闘争に就いて、熱心に注ぎ込むのは誰であるか？ 兒童が接觸するやうになつた全てに就いて、理想を誰が與へて呉れるのであるか？ 何人もなし！ 何人もこの間に答へ、この精神的問題に解決を與へ得ないのだ。ブルジョア學校の呪はしき影響を何人も防いで呉れない。嵐のやうな政治的進出に依つて惹起された所の影響、ストライキ、示威運動、蜂起、檢束、行列等によつて與へられた影響に就いて、兒童に何人も正しく了解させては呉れない。全て此等の發生の革命的意義を誰も説明しやうとはせぬ。我々プロレタリア兩親は、次のことを云つて慰めてゐるべきではない。即ち、總ては境遇の缺陷である。窮乏は兒童の將來を明るいものにするであらうと。いや、若し階級の狀勢が××を引き起すものとすれば、何故に政治團體に屬しない數百萬の無關心者が存在す

るのであるか？ 何故多數のキリスト教的労働組合が組織されるのであるか？ それではドイツやイギリスの社會民主政黨が、その一員であり、且つその指導者である所の叛逆者たるにも拘らず、何故尙ほ強大であり得るのか？ その假定が眞實であるとしても、白衛軍、囚、犯罪人、淫賣婦などは、一體何處から來たものであるのか？ 人は兒童期の印象や事件が一生残つてゐるものであることを忘れてはいけない！ 數千萬のプロレタリアートが、階級意識を敢へて持たうとせぬのは、現存せるブルジョア社會の組織的、或は非組織的影響なのである。その支持をプロレタリアートの咽喉に保たんがために、支配階級は労働大衆の無知や小兒病的柔順を、その同じ大衆に對して利用してゐるのである。

プロレタリア兒童の精神のための闘争はその肉體的福利のための闘争と同様、極めて大切なものである。革命的プロレタリアートの、その兒童たちに對して負ふべき大なる義務は、彼等を階級の内部に保持する事であり、階級のための教育をすることであり、プロレタリア的ソリダリテ、及び××的エネルギーの精神を以つて、彼等を包圍することだ。その街路の生活によつて、吾々の兒童は、彼等の進路を失ひ、道德的にも肉體的にも、墮落せしめられてゐるのだ。彼等は、ブルジョア的精神を以て、掠奪、偽善、貪慾、腐敗にま

で毒されるのだ。ブルジョア階級は、吾々の児童を、我々自身の父母、兄弟姉妹に對して刺戟して、プロレタリア父兄をして、児童から分離せしめて、日常の外殻を奴隸化するのだ。プロレタリア父兄は、多くの場合、彼等自身が教育及び指導を必要とする故に、彼等の児童の××的な教育を行ふことが出来ないのである。それ故にプロレタリア階級は、一単位として、教育のための新しき共同社會を現出せしむべき生活組織體にまで結成されねばならぬ。

三、××主義的兒童團と其の任務

××主義的な青年團體は、彼等が、プロレタリアの闘争及び無産階級の將來に對する××的教育事業を極めて重要な事として認めた最初のものであると自認してゐる。この意味に於いて、××的青年を援助することは、全てのプロレタリア父兄及び他の全てのプロレタリアートの義務であり、且つ彼等の最も重要な仕事である。我々は最早、我々の児童を都會の街路から受ける制禦し得ざる悪影響の下に曝すべきではない。我々は最早、キリスト教的政府の牧師をして、反革命の肩を持つて、プロレタリア児童を教育することを許し

共産

ては置けない。我々は我々の児童の魂に、社會主義の種子、即ち人生の××的認識を植えつけることを斷念すべきではない。我々は激しい階級闘争の中に置かれてゐる。我々の児童は數年の後にこの闘争に於いて我々を援助しなければならぬのだから、尙ほ一層この仕事をゆるがせにすべきではない。プロレタリア児童に對する××的プロレタリアートの義務を意識してゐない所の人は、階級の幸福の爲に闘争してゐるとは云へないのだ。

では如何なる手段で、我々は我々の児童を教育するべきであらうか？如何にして、街路、學校、及び全ブルジョア社會の有害な影響から、彼等を免れさせることが出来るか？我々は我々の児童のために、ブルジョワ生活の荒海の眞只中に、共產島をでも創るべきなのであらうか？

否、それは吾々に出来ないし、又、しやうとは思はない事だ。我々の児童は、彼等が後に闘争するべく運命づけられた環境の下で教育されなければならない。若し今日、街路が彼等のホームであるのならば、我々は彼等をそこから取去るのでは無く、彼等の目を開いてやることである。そうすれば彼等は我々の眼、即ち××的プロレタリアの眼、階級意識を持つ社會主義者の眼でもつて街路を見る様になる。若し児童がブルジョア學校に行く事を

餘儀なくされるならば、我々は彼等を取り去らうとはしないで、ブルジョア學校の影響に反對させ、外部からだけでなく、兒童自身の力で内部からも改革する様に試みさせるべきである。

此の目的のために、我々はプロレタリア兒童を、兒童團に組織しつゝある。そこで、我々は彼等と話し、共に遊び、讀み、仕事をし、一緒に遠足をし、彼等と同じ様に生長して行く。××主義的兒童團は、我々の兒童が其處から學校に行き、長屋に行き、そしてまた運動場に行き、かくしてその友達を楽しませ、また學校内では、教會とか、國家主義とかその他勞働者に敵對する凡ゆる制度に對つて、挑戦するやうにせしむる所の養育所であらねばならぬ。

我々は、××主義的兒童團の精神に影響されて、多くのプロレタリア兒童が、彼等の兩親を喚起させ、鼓舞させるに役立つことを信じて疑はない。それ故に、××主義的兒童團の目的は、プロレタリア兒童に、彼等の階級的な仕事及び鬭争に就かしめ、彼等を××にまで教育する事である。

『貧窮せる兒童』と云ふスローガンに於てなされた籤醫者的なブルジョアの救濟運動の

時分に、即ち、一九二〇年のクリスマスの其時に、初めて、××主義的兒童團の指導者達が、各地方に於ける××主義的兒童團運動の熱烈な宣傳を初めるためにベルリンに集まつて會議をしたのである。かくて極めて靜肅に、何等の自己宣傳もなく、眞のプロレタリア救濟運動が生れ出たのである。プロレタリアートが兒童を救ふ事の出来るのは黄金でも、金錢でも無い。ブルジョア政府に要求する事であり、ブルジョアの地方自治體に要求する事であり、之等の要求の實現の爲に尙一層闘ふことであり、少くとも勿論彼等の弱い力の範圍内でも闘争に参加すべきであると教へる事である。

我々は兒童に、背後にある意味を充分知らせず、又、××的語句の教へられぬ様な、所謂教育目的を聞き度くはない。又、我々は兒童に、何故學校で『萬邦無二のドイツ』や、『故國は神の國』や『神は國王を護り給ふ』と云ふ様な歌を唱ふのかと尋ねて見たであらうか。ブルジョアの教師や保姆が、何故、勇敢、柔順、勤勉、敬虔、儉約などを勧めるかを知つてゐるであらうか？ 何故、神が萬物を完成し給ふたと言はれてゐるのか？ 何故、彼等の父母兄弟が、侮辱され、迫害され、檢束され、投獄され、××さへされるのかを知つてゐるだらうか？

教育上の言葉は、如何に美しく響いても、ブルジョア階級が、プロレタリア兒童を、自己の道德及び自己の意見に於いて教育するのを、防げはせぬであらう。プロレタリアートは、彼等の兒童をブルジョア世界に對して、その悪影響から防ぐ方法を持つてゐない。ブルジョア社會に接することにより、常に幼き者に對して、荒々しい印象を、往々彼等につて苦痛でさへある印象を、與へられるのである。そこに於いて、我々は何を爲し得るのであるか？ 吾々鬭争階級は、何故吾々は戦はねばならぬか、また何故子供たちも他日戦はねばならぬ様になるかを、我々の兒童に對して説明するのを中止して良いであらうか？ プロレタリアの母は、飢えた子に飢しい理由を説明しないでよいものだらうか？ 子供たちにもそのわけを尋ねられた時、辱しい顔をして黙つてゐたものであらうか？ お父さん！ 何故あなたは、ストライキに参加するの？ お母さん！ 何故あなたは示威動運に行くの？ 兄さん！ 何故あなたは失業してゐるの？ 我々の兒童が、ブルジョア學校の教師等の偽瞞や刺戟的な言葉を吾々に繰返す時、我々は中立を守つて、口を閉ぢて黙つてゐてもよいものだらうか？ 兒童が新聞でその偽りや非難を読み、我々に質ねた時、我々はそれに何と答へたらよいか？ 諸君はそれを理解しないのであるか？ 否、我々は、我々の兒童等

に言ふ。ストライキを誇れ、示威運動を誇れ、監獄にある同志たちを誇れ、そして世界×
×のために市街戦に倒れた所の両親や兄弟や知己を高らかに誇れ！

尙ほ又、我々は兒童達に言ふだらう、若し皆さんが××主義者と呼ばれるならば、それを誇りとしなさい、と。その名で呼ばれるのを恐れるな！ それは諸君の名譽である！

非政治的な兒童教育の陳腐を排せよ！ 既に我々の兒童が、學校及び生活の諸影響に依つて永き以前より政治的となつたと云ふ事實に直面して、その陳腐さを排斥せよ！ 彼等は遙かに遠き昔の教育制度の、ガラス張りの家屋の中に於いて成長すべきではない。だが子供たちは資本主義をもつて彩られた、ブルジョア都市の街路、學校、運動場の眞只中に入るのだ。それ故に我々は、何等政黨に歸屬しないやうな中立的兒童團を必要としない。だが決定的に、プロレタリアートの最も決定的な部分の指導の下にある所の社會主義的兒童團を要求するのだ。それは常に犠牲者を、即ち××主義者を必要としてゐる。

今まで兒童團が存在してゐない所には、我々は直ちに××主義的兒童團を創設するであらう。プロレタリア的即ち社會主義的兒童團のある所では、我々は陳腐な成句や、美しい所謂人間的感情の、甘き灰色の液體から、闘争への××的決論の、明澄な、健康的な、赤

い酒を蒸餾するため、××主義者として彼等に浸入して行くであらう。

然し乍ら、眞に兒童は鬭争し得るだらうか？ 我々は彼等をそうさせるための責任を、

我々自身持ち得るか？ プロレタリアの母達よ！ プロレタリアの父達よ！ 恐れる勿れ

あなた達の兒童は、彼等自身で、既にその間に答へてゐる。我々の兒童團——現在までの

所、百五十あつて、『若き同志』への約二千五百名の購讀者がある。また同じ位の兒童數

が『赤い夜明け』を讀んでゐる——は、已に争鬭の眞只中にある。我々は争鬭を煽動はし

なかつた。それは、それ自身で生じたものであり、諸君の兒童が確かにそれに打勝つべき

性質のものである。ブルジョアの教師等が、鬭争を刺戟したのである。何故なれば、我々

の若き同志たちは、單に社會主義を聞き、労働階級の自由のための眞剣な鬭争に就いて、

聞くのみで満足はしない。勿論、彼等はその學んだ所のものを宣傳した。兒童は元來、争

鬭的性質を有してゐる。成人は往々單なる知識だけで満足し、全く受け身であるが、兒童

は彼等が聞いた所のものを消化する事に依つて、行動にまで刺戟される。我々の兒童は、

彼等の上に加へられる壓迫が無くとも、ブルジョア學校のあらゆる場所で、公然と自分等

の社會主義を告白してゐる。彼等は教會の知的賤業に對して、國家主義的嫌惡に對して、

プチブル的道德及びブルジョア的所有欲に對して驟起する。こうする事に依り、あらゆる都市の學校に於いて争鬪を惹き起すのである。反動的教師たちは、兒童に彼等の新聞『若き同志』を學校區域内に齎らす事を禁じてゐる。それが發見された場合、その新聞を取り上げるだけでなく、極めて野蠻的に罰しさへする。だが、これらの所罰も、勇敢な小さい同志たちに、彼等の義務と考へる所のものを爲すことを防げる事は出来ない。戰術を變へて彼等は、國歌『萬邦無二のドイツ帝國』を唱ふること、及び愛國主義的な學校儀式に参加する事を拒絶した。獨逸に於いては、××逃亡の繪を教室の壁から取り除く様に要求された。彼等は宗教及び歴史の時間に、勇敢に立つて明かに××主義××の必然を告白した。教師が彼等の父を侮辱するのを發見した時はいつでも、我々の兒童等は、その教師に反對し、決して非難や所罰を恐れない。

プロレタリアの父兄會を作ることは、我が兒童團の指導者の仕事である。他の勞働組合は學校を革命化する企てを援助し、かくて一層廣い基礎の上で鬪争を實行する。

兒童にプロレタリア的階級意識を喚起し強める良き方法は、プロレタリア的大衆運動や示威運動に参加させる事である。五月一日に我々の兒童は、成人の行列のいつも先頭に立

つて行進した。彼等にとつて、鬭争階級の一員であると自ら意識することは、喜ばしい事に相違ない。彼等の子供らしい樂天主義は、多くの成人をして自由の爲の鬭争に疲れしめない様に鼓舞する。我々の兒童團にあつては、子供等は、勿論、プロレタリア的ソリダリティ及び犠牲的精神を修得する。彼等は自分達を治める事、及び自分達の仕事をその目的に沿ふ様に處理することを學ぶ。彼等は又、彼等の選舉した指導者に従ふ様に教へられてゐる。彼等は弱者に對する考慮を知り、お互ひを、如何に教へ、且つ助け合つて行くかを知つてゐる。遠足や旅行の間に、往々實際の××主義を習得する機會がある。集團の指導者たちは、教師でも長上でもない。子供の同僚であり、年上の友達である。指導者たちと子供との間の差異は、指導者等が子供と義務を分ち持つ上に於いて、より多くを知り、より多くを経験してゐると云ふに過ぎない。兒童團はまだ強固には結合されてはゐない。それは唯だ團員としての自由意志、相互間の利益、及び彼等自身の仕事の興味の中にのみ子供たちを結合してゐる。この新しい仕事の困難さを恐れてはならない。勿論、團員の中には教育を受けた人が甚だ少ない。我々は何處から、それを求むべきであらうか？ 然し乍ら一方に於いて、公衆の前で話す才能も惠まれてゐないし、より、廣い社會では働き得ないが、

小さい方法で喜んで活動し得る所の多くの勇敢にして有識の同志もゐるのである。之等の幾分辱しがる性格の人々に對しても、今や廣汎なる活動の分野が擴けられたのだ。然し、我々の勞働婦人や勞働少女は、教育的に殆んど訓練されてゐないのではなからうか？ 彼等は子供等の要求に對して、眞の理解を持つてあらうか？ 友よ、安心なさい。教育の眞の仕事は、本からは學ばれはしない。それは經驗によつて、即ち子供らの爲に、子供等と共に働くことによつて、教へられるのである。プロレタリア兒童に對する我々の愛、社會主義の自由な土地に彼等を導かうとする吾々の熱心な願ひ、及び自由への教育は自由が最高である所に於いてのみ有効果であり得ると云ふことの認識——凡て斯うしたものが、我々に、勞働の正しい態度を教へ、正しい形式を示す。兒童を統御することは、事實困難ではない。なさねばならぬことは、大人の心から專制的態度を取去ることであり、子供等の中の子供となり得る能力を持つことである。子供となると云ふことは、そも何を意味するか？ それは幼稚さ、無知、及び無訓練を意味するものではない。それら全てを、大人はずつと以前に置き忘れたのだ。大人にとつて、子供となると云ふ事は、單純で直情であることを意味する。その感情の全てを、仕事に打ち込む事である。子供の競技を御覽なさい。

彼等の遊戯に對する熱心と熱中とを御覽なさい。諸君の獻身的態度を、子供のそれの如く眞面目ならしめよ。諸君の子供への獨斷的態度、諸君の支配欲、並に諸君の優越的知識及び才能の誇示などは、そもく何であるのか？ それらは諸君の魂の片隅にひそかに生き残つてゐた所の、そして絶滅されねばならない所の古き篡奪本能の殘骸以外の何物でもないので！ この理由のためにこそ、我々の兒童は、多くのプロレタリア的家庭に於いて、××的思想及び感情の先驅者となるであらう。如何に屢々家庭は、革命的な同志の家庭に於いてさへ、プチブル的、或は利己的暴君の諸惡行の最後の隠れ家であることよ。如何に多くの勞働者が、自分は工場の奴隸であり乍ら、家庭の壁の中に於いては、暴君的態度を取りつゝあることよ。如何に多くの母が、單に彼女らの子供であると云ふ事に依つてのみ子供に接近し得られる事か。兩親の爲に、我々は、我々の兒童の兩親や兄弟姉妹が、遠足や、お話しの夕べや、其他の催しに招かれる様に特別な注意を拂ひたい。我々は父兄から子供を引き離さうとはせぬ。然し父兄が、その子供らと共に、神聖なる××主義の爲に、鬭争することを望む。

兒童團を指導しつゝある我々同志は、單に與へたり、教へたりするのみではない。兒童

の問題及び批判は、彼等により多くを學ばしめ、社會主義に對する××的鬭争の諸問題人類史、及び科學に彼等の心を集中させるであらう。我々の兒童が、彼等の問題の解決に専心になることが、團の指導者の模範であるべきだ。かくして反對に兒童等は、大人に影響を與へる。かくて、プロレタリア階級の最も若き一員さへ、××主義者の指導の下に、大戦線の全面に於いて彼等の役目を果すであらう。

我々は、××主義的兒童團に於ける兒童を、我々の目的のために、役立たせやうとは思はない。又、彼等を利益しない目標に、彼等を導かうとも思はない。反對に吾々は、仕事に於て、争鬭に於て、勝利に於て、及び我々の階級の靈感的諸觀念に於て、彼等と行動を共にせんことを欲するものである。彼等の自己意識及び性格は、強められねばならぬ。そして眼界は廣げられ、且つかくして彼等の生活に目的と未來とを與へるべきだ。この方法に於いてこそ、我々は最も良く彼等を、街路や長屋の粗暴にして危険なる影響に對して、保護し得るのである。

此の吾々の仕事で以つて、吾々は出發が早や過ぎた等とは言ひ得ない。プロレタリアの兒童が、この問題を了解し得るずつと以前に、此の論争の點が、我々の意企及び行爲が子

○

供の利益であると云ふこと、並びに吾々が子供の眞の友であると云ふことを、直感的に感じ、また感ずるやうにさせられ得る。反動的魔手が、その致命的作業を、我々の児童に對して爲し終はるまで待たうとはするな。また自稱教育家の警戒に嚇かされるな。プロレタリアの児童をして、我々の階級の爲に勝たしめよ。プロレタリア××に對する熱烈なる準備を確立せよ。働け、そして全力を盡せ、來るべき世代が、現在の我々よりも、より良くその大なる任務に適するであらうやうに！

プロレタリアの父兄よ！諸君の掌中にこそ、諸君及び諸君の児童の將來の運命が握られてゐるのだ！

昭和五年四月十五日 印刷納本
昭和五年四月二十日 發行

〔定價一〇錢〕

PIP・パンフレット・No.1
プロレタリア階級とその兒童

編輯發行人 本 庄 陸 男

東京市下谷區入谷町三九六

印刷人 金 山 外 美 男

東京市下谷區入谷町三九六

印刷所 博 興 堂 印 刷 所

東京市神田區一ツ橋通町二番地

發行所

プロレタリア教育學研究所

BIBLIOTEKO DE P. I. P. (N^o 1)

La proletaria Klaso

kaj

iliaj Infanoj

de

Edwin Hoernle



Prezo 10 sen

324112

364.5

Tokio

Proletaria Instituto Pedagogia

1930

Puroretaria kaikyū to sono jidō
Hoernle, Edwin
11915023
Library of Congress, Asian Division
0020208493A
Aug 18, 2014

[56] puroretaria kaikyū 00hoer

0020208493A

Aug 18, 2014

Library of Congress, Asian Division

11915023

Hoernle, Edwin

Puroretaria kaikyū to sono jidō



HUAJIE 华文目 H.3201

4 5 6 7 8 9 10 11

4 5 6 7